

環境モデル都市の視点から捉えた低炭素社会の姿
(第1回分科会での御意見より)

	都市・交通システム・自然環境 (ソーシャル・キャピタル)	住宅・生活 (プライベート・キャピタル)	エネルギー (需要サイド、供給サイド)
将来ビジョン(目標とその道筋)の設定	低炭素・高満足度社会(石田委員)		
	バックカスティングによる近未来設計(岡本委員)		
技術開発と普及(ハード)		ヒートポンプ(薬師寺委員) ITの活用(月尾委員)	
		エネルギーイノベーション(柏木委員)	
ライフスタイル・ビジネススタイルの転換(ソフト)	自然の力の活用 (榎本委員)	住空間・仕事空間の転換 (石田委員、榎本委員)	
取組みの主体(ステークホルダー) (政府/自治体/産業/民間/学術コミュニティ/メディア)			
政策的対応			
・ 規制		省エネ法(村上座長) 建築基準法(隈委員)	
・ インセンティブ(誘導・支援)		可視化(村上座長)	
・ インフラ整備		ストック型社会(村上座長、岡本委員)	
	コンパクトシティ (石田委員、柏木委員)	ゼロエネルギー住宅・ゼロエネルギーオフィス (村上座長、柏木委員) エネルギーの面的利用(村上座長)	
・ 情報発信・啓発			
システムでの対応 (ハードとソフトの多面的な連携による シナジー効果)	国民生活、経済、環境 / 資源の全体統合・最適化の必要性(岡本委員)		
	地域資源・地域特性の活用(村上座長、石田委員、月尾委員)		
	地域のアメニティ向上と社会全体への貢献(村上座長)		
	環境効率の高度化(村上座長、隈委員)		
	モニタリングと成果のアピール(石田委員、柏木委員、藤田委員)、国民目線の確保(岡本委員)		
	資源自給率の向上(月尾委員)		
	各省の連携の必要性(岡本委員、藤田委員)		
取組みの手順 (ビジョン設定 現状把握 課題設定 ロードマップ策定 フォローアップ)			